



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099 (226) 5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円



司教の手紙

聖書とわたし。大事にしたい三つの要点

鹿兒島教区司教 中野裕明

教区の皆さま、お元気で
しようか？

今回は15日から始まる聖
書週間に寄せてお話ししま
す。

教皇ベネディクト十六世
の使徒的勸告「主のこと
ば」(カトリック中央協議
会2012年出版)から示
唆を得た3つの要点につい
てお話しします。

要点その1. 「みことば」
と「神のことば」の使い分
けを自覚すること

二朗読の後に待者は、「神
のことば」と唱えますが、
福音朗読の後司祭は、「主
のことば」と唱えます。

それは「神のことば」は
イエス・キリストについて
の「聖書のことば」であ
り、「主のことば」はイエ
スご自身の語った「こと
ば」を意味しているからで
す。さらに言うならば、聖
書では「ことば」はギリシ
ヤ語のロゴスで単数形。
「言葉」はロゴスの複数形
になっています。私たちは
日常的に言葉を通して、自
分の意志や、考えを他人に
伝えますが、神も同じよう
になさっています。

「神は、かつて預言者た
ちによって、多くのかたち
で、また多くのしかたで、
先祖に語られたが、この終
わりの時代には、御子によ
つて私たちに語られました。
」(ヘブライ人への手
紙1章1-2節。新共同
訳)

因みに、ここで言われて
いる「御子」は冠詞付きの
ロゴスです。すなわち、
「初めに言があった。言は
神と共にあった言は神であ
った」(ヨハネ福音書1章
1節。新共同訳)の「こと
ば」で、わたしたちはこの
「ことば」を救い主イエ
ス・キリストと信じ、愛
し、礼拝しているのです。

種とは、「神のことば」
です。それらは、良い土地
のみとか、蒔く数量とか、
効率のみを計算してもくろ
む成果主義の形態とは大き
く異なります。神のことば
は、それ自体に命を宿して
いるので、それをどう育て
収穫を得るかは、それを受
け取る側にゆだねられてい
るのです。福音宣教の成果
に左右されることなく、た
ゆまなく、かつ、出し惜し
みすることなく「神のこと
ば」を蒔き続けることは大
事なことだと思います。

又、わたしは、諸宗教対
話の集いで、「放蕩息子の
種を蒔く人」のたとえ

たとえ」を初めて聖書に触
れた信徒の方々とは分かち
合ったことがあります。そ
して、素晴らしい解釈をな
さると感心した記憶があり
ます。ひるむことなく蒔く
ことも大事です。

11月15日〜22日は聖書週間

聖書に親しむ機会にしましょう

「聖書週間」とは197
6年11月の司教総会で、毎年
11月の第3日曜日から第4日
曜日を「聖書週間」とするこ
とが決められたもので、すで
に今年も44年目になります。

その趣旨はカトリック信者
が、聖書に親しみ、聖書をよ
り正しく理解するための運動
で、「聖書週間」が果たして
いる役割は大きいものです。

鹿兒島教区では聖書週間の始
まる前の1973年度の重点
目標として「聖書に親しむ運
動」を取り上げています。こ
の47年間で各自が「聖書に親
しむこと」が当たり前になっ
ているのか反省してみたいも
のです。

今年も11月15日から22日
になります。聖書週間にあた
り、霊的旅路の糧としての聖
書について考えてみたいので
す。

▼世の中まさに健康ブー
ム。テレビでも新聞でもこれ
でもかこれでもかと健康食品
の宣伝・広告であふれていま
す。病気を治したい、予防し

ことばの上に築かれます。
教会は神のことばから生ま
れ、神のことばによって生
かされます。」「(「主のこと
ば」3番参照)

かつて、イタリアで、教
会の特徴として、プロテス
タント教会は「ことばの教
会」、対して、カトリック
教会は「秘跡の教会」と呼
ばれているのだ、とイタリ
ア人司祭から聞いたことが
あります。

第二バチカン公会議後、
教会再一致運動(エキユメ
ニズム)に加盟したカトリ
ック教会は、聖書に親しむ
ように信者を促すために、
このような聖書週間を設け

ているのだと思います。
上記の文言「教会は神の
ことばの上に築かれます。
教会は神のことばから生ま
れ、神のことばによって生
かされます」は現在の日本
の教会にとつて、重要な
テーマであると考えます。

上記の文言を実現するため
には、「神のことば」(聖
書)の分かち合いを実践す
るしかないと思いますし、
実際、教会の中で、活発に
宣教しているグループは大
概聖書の分かち合いをして
います。福音宣教をする信
徒を育てたいなら、聖書の
分かち合いが最適だと思い
ます。

読書、ロザリオや十字架の道
行、黙想会などがあげられる
のでしよう。毎日ミサにあず
かり、御聖体を頂くことが一
番の「霊的旅路の糧」で、霊
的に健康になり、元気がでる
確かなものであることに間違
いはないのでしようが、それ
だけでいいのでしようか。実はこれま
で気づかないで来たもので素
晴らしい霊的旅路の糧がある
のです。

▼第2バチカン公会議の
啓示憲章21項によれば「教会
は主の御からだそのものと同
じように聖書をつねにあがめ
敬つてきた。：教会はたえず
キリストのからだと同時に神
のことばの食卓からいのちの
パンを信者たちに差し出して
きたからである。(中略) 神
のことばには非常に大きな力
と能力が内在しているので教

また、聖書に親しむため
には聖書講座などで、講師
の司祭から聖書の解説を承
ることもでき、信仰に忠実
な信徒が育つかもいれませ
んが、「みことば」に支え
られて生きるためにはそれ
だけでは不十分です。個人
で全聖書を通読することも
大きな力になります。

最後に、「聖書を知らな
いことは、キリストを知ら
ないこと」と言い放つたの
は、ギリシヤ語聖書(70人
訳)をラテン語に翻訳した
聖ヒエロニムス(4世紀)
です。聖書を読んで、もつ
とキリストと親しくなりま
しょう。

会の子らには信仰の力とな
り、霊魂にとつては糧、霊的
生活にとつては純粋な大きな
泉となつて現れる。」「また
典章憲章7項では「キリスト
はご自身のことばのうち現
存しておられる」という表現
は、まさに霊的旅路の糧とし
て神のみことばがいかに大切
かを強調していると思いま
す。また、アジア司教協議会
連盟(FABC)第5回総会
報告書には「神のみことばに
は復活した主が秘跡と同様に
現存しており神秘的な
のである」と宣言しています。

「みことばは神であつた。み
ことばのうち生命があつ
た」(ヨハネ福音1・1)
5)を信じ、聖体と同様にみ
ことばを霊的旅路の糧として
いただきたいのです。

▼聖書講座、レクテイオ
ディピナ、聖書百週間、聖書
の分かち合いなど、恵まれた
機会を上手に利用し、神の言
葉に親しみ、みことばが生き
る糧、力となるように、神の
民みんなのために祈ると同時
に実行に移してまいりましょ
う。(聖書に親しむ具体的ヒ
ントについては3面の記事を
ご覧ください。)

「聖書を読んで分かち合
い、班制度を生かしてイエ
ス・キリストを次の世代に
伝えていきたい」の意向に
沿うため。会議では永山神
父から班制度の目的と活動
内容について聞き、今後予
定している「班長研修会」
についても検討した。

▼信仰部会
9月27日(日) 教区本部
で第4回信仰部会を開い
た。13人出席。議題は「み
ことばの分かち合いの方
法」と「班制度・班集
会」。これは中野司教の

福者レオ七右衛門

殉 教 祭 ミ サ

11月15日 (日) 10時30分

司 式 中野裕明司教

(インターネットで配信)



※おこわり
川内教会の信徒のみ来
場できます。他の教会の
方はインターネットを通
じてご参列ください。

差別主義と平等主義 (8)

紫原教会主任司祭

山口好信

先回、教会史家ポーケンコッターの本から、現在教会に必要なのは民主化と対話であると述べました。なぜなら教会は使徒継承の団体であることは当然でしょうが、聖職者の権威・権力主張は度を越したのになつていったからです。

ヨハネの黙示録にあるように、キリストは私たちを愛し、ご自分の血によって罪から解放しただけでなく「私たちを神に仕える祭司としてくださつた」(1:6)のです。第一ペトロ書でも「あなた方は選ばれた民、王の系統を引く祭司、聖なる国民、神のものとなつた民です」(2:9)。

イエスは使徒に全権を与えたとか使徒の権威は絶対的なものとか教会論の本にありますが、本当にそうでしょうか。使徒も人間である以上、委任される権限は限定的なものではないでしょうか(ルカ10:19など)。皆の賛同を得ながら、信徒全員で教会を望ましい方向にもつていくという姿勢が必要だろと思いま

のちに司教・司祭となる人たちが祭司なのではなく、のちに平信徒とか一般信徒とか、さらには俗人と呼ばれる人も祭司なのです。この点をもっと重く見るならば、一般信徒を俗人と呼ぶことはできないはずであり、パウロが手紙の初めに呼びかける言葉として「聖なる者」(コロサイ1:2)と呼ぶべきです。

ここで「皆の賛同を得ながら」というのは先回クレメンスの手紙の「監督は全教会の同意のもと」につながっていく点です。その後、4世紀コンスタンティヌス帝下で、この点は形骸化していきま

キリストにおいて平等であるべき「神の民」(第一ペトロ2:9、ヘブライ4:9)が、聖職者(クレリコス)と一般信徒(ライコス)に分けられ、そのみか一方は聖職者・祭司職と呼ばれ、片方は俗人とされ、さらにその差が徐々に広がっていったのでした。

祭司とは神と人との仲介者、人々のため神にいけにえ(犠牲)を捧げる人のことです。ユダヤ教には祭司がいま

使徒後の時代から少し見ると、最初に「ライコス」という単語を使ったのは、ローマのクレメンスです。「大祭司には彼独自の務

分をただ一度捧げられたことにより、もはや犠牲は不要なので、それを捧げる仲介者と

めが与えられており、祭司には祭司独自の役割が割り当てられており、レビ人にはレビ人独自の奉仕が課せられている。一般信徒(ライコス)には一般信徒向けられた命令が与えられている。兄弟よ、私たち各々は、それぞれの地位において神に嘉されるようにしよう。」

家たちは、礼拝の司式者(監督・長老、のちの司教・司祭)以外の人を「ライコス」(一般信徒、平信徒、俗人)と呼ぶようになっていきま

次に、教父テルトゥリアヌスは「貞潔の勧めについて」(211年頃)の第7章、ここでは再婚者は聖職に就けないという規律を基に、信徒も再婚するべきではないという議論が展開されます

当然ながら、三人いるところには、たとえ彼らが平信徒であっても、そこに教会があるものである。まことに、使徒も言っているとおり、各人は『その信仰によって生き、神は人を分け隔てなさらない』と。

聖職者と平信徒の区別を認めつつも、その区別を設けたのは「教会の権威」であるという点、そして基本的には平信徒も司祭なのだという点が重要です。テルトゥリアヌスは全信徒祭司制の考え方になつていきます。

250年頃の教父キプリアヌスは迫害期アフリカの司教でしたが、棄教した司教の受け入れ問題や教会分裂の問題に取り組み中で、異端に走った司教とは違って司教コルネリウスは「神の判断と、司祭と人々の賛同によって」叙階されたと言っています(書簡66)。

サンタマリア神父 司祭叙階50周年



国分教会主任のジョゼッペ・サンタマリア神父(聖ザベリオ宣教会)が司祭叙階50周年(金祝)を迎え、叙階記念日の10月4日(日)国分教会に中野司教を迎え、感謝のミサをささげた。

出身の神父は、父・アウグスティヌスさん、母アンジェラさんの9人の子供の6番目として誕生。小学生の頃、教区の小神学校に入学した。教区神学生だったが、高校生になつて海外宣教に憧れてザベリオ宣教会へ入会、そして1970年に叙階された。以後、サルディニア島、イギリス、日本の各地で働いている。

9月29日(火)教区本部とザビエル教会を会場に本土地区全司祭・助祭会議が開かれた。この日の会議では、中野司教が改めて教区シノドスの意義を説明し、信徒と司祭が協力してその実りのために邁進するよう要望した。

本土地区司祭集会

訃報

▼アン神父の母堂帰天

始良教会のアン神父の母堂アンナ・ホアン・ティ・リュウさんが9月23日(水)、神のみもとに召さ

分科会後は、主聖堂で全大会が開かれ、分かち合いの様子報告されたほか、コロナ禍での各教会のミサや集会に対する取り組みなどが報告された。

+KABAYAN SEKSYON+

Edukasyon Sex at ang Pamilya

“Ang Pangangailangan sa Sex Education” ang pamagat ng isang mahabang bahagi ng *Amoris Laetitia* (Ang Kagalakan ng Pag-ibig). Bilang panimula, binabanggit doon ang sinasabi ng ikalawang Konsilyo sa Vaticano na kailangan maibahagi sa mga bata at kabataan ang “Isang positibo at maingat na sex education” (280).

Mabigat ang hamong ito sa mga pamilya. “Hindi madaling talakayin ang isyu ng sex education sa panahong ito kung kailan mababaw at hikahos ang pagtingin sa seksuwalidad.” Kailangan tingnan ang gawain” na napapalob sa mas malawak na balangkas ng edukasyon sap ag-ibig, sa pagbabahaginan ng sarili” (280).

Dahil maselan ang responsabilidad na ito, kailangan ingatan na huwag matuon lang ang edukasyon sa pisikal na aspeto na ang pangunahing hangarin ay “proteksyon” sa pamamagitan ng “ligtas na pakikipagtalik” (283).

Ang ganoong pagharap sa usapin ay maaaring maghatid ng “negatibong pananaw sa likas na mapanlikhang hangarin ng seksuwalidad, na para bang ang batang maaaring isilang ay isang kaaway na dapat iwasan” (283).

Ang dapat na maging hangarin ay maituro ang “kamalayan sa iba-ibang pagpapahayag ng pagmamahal, pagmamalasakit, at pagkalinga sa isa’t isa, mapagmahal na paggalang at makahulugang ugnayan” (283).

Kaya kailangan na maipunawa sa mga bata o anak ang tungkol sa banal na seksuwalidad na ibinigay ng Diyos sa tao. Na yan ay sunod sa plano ng Diyos, na gamitin ang seksuwalidad sa tamang pamamaraan at wastong paggamit at pag-unawa, para maiwasan ang magulong pamilya. Pagpalain nawa ang lahat ng mga bata at pamilya ng Diyos ng pag-ibig.

Katekismo Para sa Taon ng Parokya bilang Komunidad (Fr.Dino Orolfo)

聖書に親しむ具体的方法について

「聖書において、天にまします父は深い愛情を持って、常に自分のこともたちと会って、互いに語り合うのである。」(啓示憲章21)

1. はじめに

司教の手紙で司教さまは、聖書週間について説明してくださいましたが、ここでは具体的な聖書の親しみ方について説明したいと思います。それぞれの読み方についてより詳細な説明や資料が必要でしたら、教区本部事務局に遠慮なく問い合わせください。

まず、聖書に親しむためには是非心がけていただきたいことは、次の通りです。

①聖書を持つこと…一人一冊ずつ聖書を持つこと「マイ聖書」をお勧めします。

②聖書に思い切った線や色を塗ること…心に響いたり、なるほどと思う個所に色鉛筆やサインペン(黄色を勧めます)で線を入れま

す。聖書に線を入れる事は抵抗があるかもしれませんが、あとで開くと大事なことが出てきますからとても役に立ちます。

③聖書を読むとき祈りながら読むこと…読む前後に必ず祈ってから読みましょう。また、読む途中でも父なる神に祈りましょう。

④かつてザビエル教会で活躍された七田和二郎神父様は、「毎日聖書を読みましよう。読めないときは、聖書に手を触れるだけでも良いのです。」との名言を述べておられました。

2. 個人としての読み方

(1) 聖書通読

①通読の狙い…主日のミサで旧約と新約のみ言葉に3回ほど触れますが、聖書全体として何が書かれているかは意外と知りません。通読を通して旧約と新約のつながりが分かり、聖書を通して父なる神が私たちに話しかける内容をよく理解できるようにになります。

②通読表・インターネットで「聖書通読表」と検索すれば出てきますから、それを使用するのがよいかと思えます。出来事を時系列に並べ替えた通読表がありますから、必要な方は教区本部事務局に問い合わせください。

③どの程度のペースで何日3章くらいを1年間というのはいかがでしょうか。1日1章くらいで3年間でもよいと思います。

④通読の秘訣
・速読で一気に読む
・分かつても分からなくても読む
・ちよつとした合間に読む
・家庭、グループ、教会などで親しい方々と一緒に読む
・祈りながら、神が私たちに何を示そうとしているかを考えながら読むことなどを心がけたらいいでしょうか。

⑤解説書を参考にしながら読むこと
聖書に関する本はたくさん出ています。自分に合った解説書を手元に於いて読んだらよいかと思えます。

⑥感想をメモする方法
読んだ後の感想をノートに書いていきます。聖書黙想ノートと呼んでいる方もおられます。

⑦写聖
聖書を少しずつノートに写していく方法です。習字の見本帳も発行されています。心を込めて書いていくと心が染み通ると言われています。

⑧グループとして読む方法
(1)聖書研究会・聖書講座に参加すること
小教区などで開催されていて司祭やシスター達から、読んだところのテーマ、時代背景、言葉の意味などについて解説してもらい、必要ならば質疑応答により理解を深めていくものです。

(2)聖書百週間に参加すること
旧約、新約全聖書を約100週間かけて読みます(休みも含めて約3年半かかります)。毎週、配分表に従って補助テキスト

く、ダビデが神の箱を天幕に安置したという象徴的な出来事によって、エルサレムはまさに名実ともに首都となりました(サムエル下6章)。こうした歴史を踏まえると、福音記者ルカは新たな時代がへブロンであるエリザベトによって始まり、その繁栄は神の箱を安置したエルサレム、即ち、神の独り子であるイエス

「山地」を意味します。この言葉から「ユダの町」とはヘブロンであることが明らかです(ヨシヤ20・7, 21・11)。ヘブロンはダビデがユダの王として油を注がれた時(即位して)油を注がれた時(即位して)

《康由神父の聖書教室 ③》
マリアのエリザベト訪問



会と催し 11月

1日(日) 諸聖人
▼死者のためのミサ・カトリック納骨堂前広場・11時(雨天中止)

2日(月) 死者の日
▼平秀応修道士命日(1994年)

4日(水) 中野アカデミー・教区本部・19時
▼大野和夫神父命日(2016年)

8日(日) 年間第32主日
▼死者のためのミサ・唐湊墓地・14時

9日(月) ラテラン教会の献堂
▼司祭評議会・教区本部・14時

10日(火) ミニヒビ神父霊名(テヨドル)
▼ガブリエル神父命日(1978年)

11日(水) 中野アカデミー・教区本部・19時
▼年間第33主日

15日(日) レジオナリエ鹿児島コミチウム・谷山教会・14時
▼福者レオ七右衛門殉教祭ミサ・川内教会・10時30分

17日(火) 貧しい人のための世界祈願日
▼聖書週間(22日)

18日(水) レンデンプートル会例会・総会
▼榊修神父命日(2014年)

20日(金) 中野アカデミー・教区本部・19時
▼三木巖神父命日(2000年)

21日(土) 正義と平和協議会・教区本部・13時
▼王であるキリスト

22日(日) 奄美の宣教司牧を考える会
▼オリーブの会・教区本部・14時

24日(火) 奄美地区司祭会
▼鄭成淳神父霊名(ヨハネ・ベルクマンズ)

26日(木) 鄭成淳神父霊名(ヨハネ・ベルクマンズ)
▼待降節第1主日

29日(日) 聖アンデレ使徒
▼(司教日程) 4日中野アカデミー、11日司祭生涯養成委員会(福岡)・中野アカデミー、15日福者レオ七右衛門殉教祭ミサ、18日中野アカデミー、19日福岡大神学院感謝祭、22日奄美の宣教司牧を考える会、24日奄美地区司祭会、25日福岡大神学院会議

祈りの意向
▼世界の教会 人工知能
▼日本の教会 日韓司教交流会

サンマリノ駐日大使がザビエル教会訪問
9月25日(金) 午後、サンマリノ共和国のマリリオ・カ

デロ駐日大使がザビエル教会を訪問し、中野司教とも面談した。大使は、中野司教、小隈神父、霧島神父から教会や興味があるというベルナルドについての説明を受け、次の訪問地へ向かった。



9月25日(金) 午後、サンマリノ共和国のマリリオ・カデロ駐日大使がザビエル教会を訪問し、中野司教とも面談した。大使は、中野司教、小隈神父、霧島神父から教会や興味があるというベルナルドについての説明を受け、次の訪問地へ向かった。

教区シノドス これからどう進む③ 全員参加の共同体を目指して

教区シノドス推進会事務局 長 野 宏 樹

2. 活動団体中心の教会

前回は、「主任司祭中心の教会」という小教区のタイプを提示しましたが、今回は、「活動団体中心の教会」の姿をながめてみることにします。

(1) 活動団体の種類

左の絵は、活動団体が中心的な働きをしている小教区の姿を表しています。そこに描かれている活動団体を、3種類に分けて考えてみます。

① 聖堂へ向かう矢印の団体

これらの団体は、小教区のために活動する団体を表しています。例えば、ミサや葬儀などでの解説を担当するグループ、聖書朗読のグループ、病人訪問担当グループ、などです。

② 外に向かう矢印の団体

これらの団体は、小教区外で起こる出来事や超小教区的なことがらへの対応をする活動団体です。例えば、隣りの小教区の信徒と合同で取り組む活動、正義と平和にかかわる活動、滞日外国人支援活動ホ

ームレスのための奉仕活動、などをやる団体です。

③ 矢印のついていない団体

これらの団体は、信徒としての個人的成長をめざした活動団体です。例えば、教理の学習会、聖書研究会、共にロザリオを唱える会、などです。

私たちの教会の中にも似たような団体があると思います。具体的には、小教区によって相違があるでしょう。

(2) 活動団体の存在意義

これらの活動団体が活発に動いている小教区は、何か躍動的な感じがします。そこで、活動団体の存在意義について考えてみることにします。

① 活動団体があるおかげで、小教区はたいへん活性化されます。多くの信徒が、それぞれのタレントに応じた活動に参加できます。ある人は自分自身の成長のために、ある

る人数も、いつの間にか限られてくることになりま

(3) 振り返ってみれば

人は小教区のために、そしてある人は小教区を超えた活動のために働いています。

② 活動団体中心の小教区では、助けを必要としている人々を小教区内外に見出し、彼らの必要を満たすための協力をすることが出来ます。

③ 活動団体の働きが中心となつて、小教区は大いに成長していきます。多くの信徒が教会活動に参加できるようになり、参加していく中で、信徒としての自分自身の召命とは何なのかを認識していけるようになりま

す。言い換えれば、活動団体のメンバーたちは活動を続けていくうちに、「主任司祭を助ける」というよりも、「教会である自分たち自身の使命に生きる」という考えに変わっていくのです。

④ しかし、活動団体中心の教会にも、それらの団体に入会することを尻込みする人が少なからず存在します。その結果、それらの活動に参加す

とめられ、その重要性がより強調されることになりま

(4) これでいいのか

活動団体中心の小教区に行くと、「忙しい教会だな」と感じる人が多いでしょう。いつも何かが行進している、信徒たちは常に活動しています。そして司祭たちも、指導司祭として活動団体の集会に出席することになります

が、活動が活発であればあるほど、対応に忙殺されていきます。

⑤ 1979 (昭和54年) に「鹿児島教区信徒使徒職協議会」が設立されてからは、教区内での活動も盛んになりました。

しかし、これらの活動団体も、半世紀近くを経た現時点では、その数も減少し、数えるほどしか存在しません。また、昔若かった会員たちがそのメンバーのままの状態でも年月が経ってしまっているようにも感じられます。昭和30〜40年代に大いに活躍していた活動団体のことを知っている者にとつては、さびしい現実ではないでしょうか。司祭にとつても信徒にとつても、何か魅力がなくなつたのでしょうか。

第二に、活動に参加する人の数が限られてくる、という

地元の激しい反発で、7日後に町長辞任、誘致計画は消えました。その後2008年、山口県では、受入賛成派の福田氏 (元自民党衆議院議員) が岩国市長に当選し、厚木から岩国基地への空母艦載機移駐を、2017年より受入れ、2020年3月で移駐完了しました。

米軍は、空母に近い陸上で訓練することを望んでいますが、馬毛島が訓練地になれば、錦江湾内に空母が入港するのではないかと、また、馬毛島駐屯の米軍兵士が、休日には天文館まで繰り出し、沖縄のように婦女暴行事件などが起きはしないかと、と、

2003年には、広島県沖美町の町長が、瀬戸内海の無人島・大黒神島への夜間離着陸訓練誘致計画を表明し、

また、日本では、米原子

KJJP (鹿児島正義と平和協議会) 通信 11月号

西之表市の馬毛島のこと

10月7日に西之表市の八板市長が、馬毛島へのFCLP移転計画に反対を表明しました。(FCLP)とは「陸上空母離着陸訓練」のことです。また、特に騒音が問題になるのは(NLP)「夜間離着陸訓練」です。

具体的には(タッチアンドゴー)と呼ばれる訓練で、複数の戦闘機が、滑走路の周囲を旋回し、着陸後、すばやく離陸体制に入り、再び離陸

する訓練です。実際の米空母の飛行甲板は、240メートル。現代の空母艦載機は、昼夜問わず出撃するため、米空軍パイロットには夜間の訓練が義務付けられています。

一方、米本土バージニア州のオシアナ海軍航空基地周辺でも、住民による騒音被害訴訟が起きています。現在、艦載機は、F14から排気音の大きいF/A18に変わり、騒音問題は深刻化しています。

また、日本では、米原子

ザビエル聖堂再生に貢献された方々の
追悼ミサ
日時：12月3日 (木) 11時から
場所：福岡黙想の家ザビエル聖堂
司式：ペリオン・ルイ神父
問合せ：090-3882-1251 土田

心配になります。厳しい訓練で溜まったストレスを吐き出したと思うのは、生身の人間として自然にありうることです。問題は複雑ですが、私たちとともに現実に生きておられるイエスさまは、どう応えられるでしょうか。
(谷山教会・本村裕之)

▼社会問題の分かち合い
日時：11月21日(土)
(毎月第三王曜日)
13時〜16時
場所：教区本部
内容：原発・改憲・沖縄問題についての情報交換
その他

